

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスバンビ		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 26日		R7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		R7年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地震の際の安全の確保について。	送迎中に地震が発生した際は、送迎車をその場に一旦待機させ、情報をもとに送迎を中断し、事業所へ戻るよう指示している。南海トラフ地震臨時情報(調査中、巨大地震警戒、巨大地震注意)をもとに保護者へ連絡し、関連性を考慮して、当日及び後日の送迎は見合わせる旨を各家庭に伝達している。なお、調査終了の発表に伴い、送迎再開としている。	
2	職員の資質向上を図るための研修機会の確保。	安全計画研修、食中毒・熱中症予防研修、業務継続計画研修(自然災害、感染症)、虐待防止・身体拘束研修、人権(差別解消等)研修、ヒヤリハット・事故報告の検証、分析、見直し、その他児童発達支援に係る外部研修等に参加できるようにしている。	
3	活動プログラムの立案・作成。	活動予定表を立てる際は、職員同士で様々な意見を出し合っ検討している。集団や個別での活動、季節を感じられる活動、静と動の活動等、全体のバランスを考えながら作成している。	5領域を活動プログラムの欄に記載し、どの活動が何の領域に沿っているのか分かりやすいようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	インクルージョンの機会が少ない。	放課後児童クラブや児童館との交流が特にない。	放課後児童クラブや児童館との交流は特に設けていないが、その他インクルージョンが図れるよう工夫している(園外活動での買い物支援、週末開所や長期休暇での公共施設利用、可能な限り地域社会への参加を促せるよう園祭や地域交流事業等の情報提供等)。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	父母の会や保護者会等がない。	父母の会活動支援や保護者会等はないが、家族参加型の活動の場を設け、保護者同士の交流が図れるよう工夫している。
3	事業所のハード面。	建物の構造上、活動の場所が2階なので階段もありバリアフリー化が図れていない。また、生活空間については賃貸物件のため限られた空間しかなく、子ども達に特化した構造とは言えず、児童が不穏状態になった際に個別対応できる部屋もない。	2階までの階段については、バリアフリー対応として開所時に手すりを増設している。また、車椅子やバギー等は職員2名体制にて事故がないよう統一した支援を行っている。生活空間については、視覚表を貼付して配慮したり、必要に応じて環境設定(更衣室や事務室を利用して個別対応する)を行う等、工夫しながら対応している。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもデイサービスパンビ

公表日 令和 7年 2月 28日

利用児童数 34名

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	7			その日の利用者数によって変わってくると思うので、どちらともいえないにしました。	子ども達が自由に動き回っている際は狭く感じるかも知れませんが、室内だけでなく、他の場所（グラウンド等）での活動も取り入れ、子ども達が安心かつ安全に過ごせるように工夫しています。広さについては、厚生労働省による全国的な基準は決められていませんが、厚生労働省の放課後等デイサービスガイドラインでは、子ども一人当たり2.47㎡の床面積を目安として適切なスペースを確保することが望ましいとされており、パンビもクリアしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	4		1	その日の利用者数によって変わってくると思うので、どちらともいえないにしました。	配置数については、基準以上の人数を配置しています。また、支援に携わる職員は保育士や児童指導員等の有資格者で、他資格（社会福祉士、介護福祉士、知的障がい者陸上コーチ資格、障がい者スポーツ指導員）を有する職員もいます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	6			バリアフリー化とした構造となっていると思います。	2階建てで階段があるため、開所時に手すりを増設しています。昇降時に踏き等の事故がないよう職員が付き添いながら配慮しています。また、車椅子やバギー等は職員2名体制にて支援しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2		1	きちんと整理され、過ごしやすい環境となっていると思います。	子ども達の障がい特性に応じて、安心かつ安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1		1	・とても特性を理解して対応してくれていると思います。 ・個々に応じた支援がなされていると思います。	5領域やインクルージョンを踏まえた個別支援計画を作成し、一人ひとりに沿った支援を提供させていただいています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1		2		支援プログラムは作成していますが未公表のため、今年度内に公表予定としています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1			保護者の思いを踏まえた目標・課題を考え、一緒に取り組んで来ています。	6ヶ月毎のモニタリング会議にて保護者と情報共有を図り、ニーズを汲み取るよう心掛けています。また、5領域やインクルージョンを踏まえ、一人ひとりに沿った個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	4			保護者の思いを踏まえた目標・課題を考え、一緒に取り組んで来ています。	5領域やインクルージョンを踏まえ、一人ひとりに沿った個別支援計画を作成しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	3			保護者の思いを踏まえた目標・課題を考え、一緒に取り組んで来ています。	5領域やインクルージョンを踏まえた個別支援計画を作成し、一人ひとりに沿った支援を提供させていただいています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1			以前はもっと運動場を使った運動プログラムがあったと思うのですが、とてもなくなくなったと感じます。	活動予定表を立てる際は、職員同士で様々なアイデアを出し合って検討しています。集団や個別での活動、季節を感じられる活動、静と動の活動等、全体のバランスを考えながら作成しています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	8	1	8	・子どもに発語がないため、そういった活動をしているのかの確認が出来ませんでした。 ・本人が参加していないので分かりません。	放課後児童クラブや児童館との交流機会は今のところありませんが、その他インクルージョンの機会は設けさせていただいています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	2			その都度、丁寧な説明がなされています。	契約時に説明させていただいています。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	3			その都度、丁寧な説明がなされています。	個別支援計画交付時に説明させていただいています。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	1		6	行われているのか分からないので…すみません。	ペアレント・トレーニングは実施していませんが、ご家族参加型の活動の場を設け、保護者からの相談事や悩み等に対応できるよう配慮しています。	

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2			連絡ノート等を通じていつも教えていただいています。	電話や連絡帳、日々の送迎時に支援内容やその他必要な情報等を共有させていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3	1		語りタイムやモニタリング等でたくさんの助言をいただいています。	個別での相談事や悩み等については、電話や連絡帳を通じて対応させていただいています。また、必要に応じてモニタリング会議にて助言させていただくこともあります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1			語りタイムやモニタリング等でたくさんの助言をいただいています。	様々な活動を通じて個別支援計画に沿ったサービスを提供し、子ども達のより良い成長につながるよう支援させていただいています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	3	3	・子どもが小さい時は保護者同士の交流に助けられましたが、子が大きくなり障がいの特性や困りが分かれるにつれて「よそはよそ。うちがうち」という考えになり、特に保護者の交流に必要性を感じなくなりました。今まで通り、特になくても良いのかなと思います。 ・たくさんの楽しいイベントをいつもしていただき、地域の方々や多くの方との交流を図ってくれています。	父母の会や保護者会等はありませんが、ご家族参加型の活動の場を設け、保護者同士の交流が図れるよう工夫しています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	1	3	相談等に対しても早急に対応してくれています。	相談や申入れ等があった際は児童発達支援管理責任者へ報告があり、できる限り迅速に回答できるように心掛けています。ご意見は大変ありがたく受け止め、サービス向上に向けて改善していきたいと考えています。今後も怠らないご意見をお願いいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1			何かあればすぐに連絡をいただいで教えてもらっています。	子ども達には視覚的支援を中心に個別での情報伝達を行っています。また、保護者には活動の様子をご理解いただけるよう、連絡帳への活動内容の記載や写真貼付等させていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	4			活動内容等、分かりやすく情報提供してきます。	活動予定表や定期のパンフレット発行にて情報を発信しています。また、事業所評価についてはアンケート集計結果を事業所入口に掲示して公開しています。なお、法人ホームページにも適宜行事の記事をアップする等、広報に努めています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2			プライバシーの配慮、守秘義務をしっかりとつけています。	個人情報の取扱いについては、細心の注意を払っています。広報誌等への写真掲載の有無に関しては、利用契約時に個人情報提供同意書をいただくようにしています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2		1	避難訓練等、定期的に取り組んでくれています。	年度当初の保護者説明会にて安全計画等を周知させていただいています。また、各種訓練については、法人内のマニュアルに沿って定期的実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	3		2	避難訓練等、定期的に取り組んでくれています。	非常災害等の発生に備え、定期的に訓練（避難誘導、防犯、風水害）を実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	2			・夏に地震があった時に対応していただいたと聞きました。 ・避難訓練等、定期的に取り組んでくれています。	年度当初の保護者説明会にて安全計画等を周知させていただいています。また、子ども達の障がい特性に応じて、安心かつ安全に過ごせるよう環境設定に配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1			・事故は起きた事はないので分かりませんが、送迎中に地震が起きた際は各家庭に早急に連絡を入れて今後の送迎予定等を伝えていたので素晴らしいなと思います。 ・何かあればすぐに連絡をくれます。	事故等が発生した際は児童発達支援管理責任者へ報告があり、できる限り迅速に対応できるように配慮しています。また、電話や連絡帳、当日の送迎時に状況説明を行い、その後の経過も含めて確認させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	1			毎日、楽しく安心して通所させてもらっています。	療育を通じて、今後も子ども達の最善の利益の保障と健全な育成が図れるよう日々努力して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	1			・毎回行くのを楽しみにしています。 ・おかし作り等イベントも楽しみに通っています。	ハンピでは様々な活動を通じて、笑顔をご家庭に持って帰ることも大切にしています。今後も安全第一で子ども達に安心して通ってもらえる事業所を目指し、日々努力して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			・いつも子どもの困り（定期的に変化します）に寄り添っていただき大変感謝しています。ありがとうございます。 ・いつも急な対応も丁寧を受けてくださり感謝しています。	いつも保護者の皆様を支えられ、職員も感謝しかありません。何かあればすぐに保護者に連絡し、安心して子ども達を預けていただけるよう今後も努力して参ります。これからも『子ども達と共に成長するハンピ』を目指し、保護者の皆様と連携を図っていけたらと考えています。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもデイサービス パンビ		令和 7年 2月 28日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2		・活動場所が狭い。 ・人数が多いためスペースが狭く感じる。 ・ガイドラインから見ると適切と思うが、20名来所すると狭いと思う。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	1	常に配置の確認を職員間で確認しています。	・強度行動障がい有する児童が多いため、マンツーマン支援が必要である。 ・人員配置は満たしているが、強度行動障がいの方の支援となると少なく感じる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	5	必要に応じて視覚表を貼付する等、配慮できています。	・活動場所が2階のため、階段利用。 ・賃貸物件のため管理上の配慮が難しい。 ・カーンダウン室等がないため、不穏な状態になった際の部屋がない。 ・建物の構造上、バリアフリー化までできていない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	1			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	環境設定を行いながら、その都度対応している。	・部屋が少ないため難しい。 ・部屋が少ないためできていない。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		会議等でご利用児の状況や支援統一を図っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	5	第三者評価は受けていませんが、内部監査や県監査の際に助言や指摘を受けた事項については、改善につなげています。	第三者評価は未受検。今後検討（本部と協議）。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1			
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	3		・公表はしていないが、作成済みである。 ・支援プログラムの作成はしていますが、公表はまだしていません。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		支援終了後に打ち合わせの時間を必ず設けることは難しいが、連絡帳コピーやノートによる伝達、翌日のミーティング等にて情報共有が図れている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	13			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	13			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	6	・様々な研修に参加している。 ・スーパーバイズや助言、研修等の機会は特に設けていないが、児童発達支援センターの相談員と連絡を取りながら情報共有しています。	地域の児童発達支援センターが中核的機能をまだ果たしていないから。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	6	放課後児童クラブや児童館との交流は特になが、その他インクルージョンの機会は設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	5	ペアレント・トレーニングは実施していませんが、家族参加型の活動の場を設け、保護者からの相談事や悩み等に対応できるよう配慮しています。	家族支援プログラムの情報提供のみ。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	6	・地域に開かれた園祭に保護者も一緒に参加する機会を提供している。 ・父母の会活動支援や保護者会等はないが、家族参加型の活動の場を設け、保護者同士の交流が図れるよう工夫しています。	・父母の会の活動はない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	2			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		年度当初の保護者説明会にて周知していません。		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		食物アレルギーの有無は契約時に確認し、保護者から必要書類等のコピーをもらっています。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		年度当初の保護者説明会にて周知していません。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13					